

4月26日・・・チェルノブイリ原子力発電所 大爆発

死者の数・・・未定

「4月26日」・・・科学の歴史における最悪の結果を招いたこの日ことを知ってください。

下の写真1を見てください。優しい笑顔の母に抱かれた赤ちゃんが可愛い微笑を浮かべています。一見すると和やかな写真です。一体誰が、母と子どもの恐ろしい未来を暗示する悲劇の写真だと思いませんか。

赤ちゃんの前に突き出した一本の棒……。これは放射能測定器です。

1986年4月26日午前1時23分、旧ソ連ウクライナ共和国の北辺に位置するチェルノブイリ原発で原子力発電開発史上最悪の事故が発生した。原子炉は一瞬のうちに破壊され、爆発とそれに引き続いた火災にともない、大量の放射能放出が続いたのである。目撃者によると、夜空に花火が上がったようであったそうだ。放射能雲は4月27日には海を越えたスウェーデンで検出され、さらに5月上旬にかけて北半球のほぼ全域で観測された。日本でも5月3日に降った雨水から放射能放出が検出された。強い放射能に襲われたヨーロッパ各国では牛乳、飲み水などあらゆるところから放射能が検出されパニックが起きた。

死亡者 未定？

この事故によってどれだけの人々が放射線で死亡したのか？大まかな数さえ誰も知らない。公式な報告でもは300人から30万人までとおおきな開きがある。時の旧ソビエト政府は、あまりの惨劇の大きさに真実を公表することを恐れ、この事故による死者は当初、消化活動にあたった職員と消防士計31名だけであると発表した。しかし、多くの現地調査から、事故による直接の死者は6千人以上におよび、被曝した人は全体で1000万人以上、事故に直接起因するガン患者は数十万人に達し、避難者は立入禁止地区30キロ圏だけでも13万5千人にも及んだといわれている。



増え続けるガン患者

大気中に放出された放射能は地上のあらゆるものに溶け込んでいく。川も植物も地下水も動物も森も、ありとあらゆるものに放射能は溶け込んでいく。匂いも味もなく目にも見えない静かな恐怖……。

汚染されていると知っていても、生きていくために水を飲み、食料を食べる……。体内に蓄積した放射能は、体を蝕み、母乳から赤ちゃんへと流れていく。

自分の乳が汚染されていると知りながら母乳を与えなければならない母の悲しみ……。

事故直後から、小児甲状腺のガンや白血病が多発した。一体何人の子どもたちが死んでいったことか……。悲劇は今も続いている。



4月26日の午前1時、冷却水がこぼれ、出力が急激に増大し始めた。午前1時23分、オペレータは原子炉を低出力モードで停止させようとした。だが、電力急増を起こし、午前1時23分、ものすごい蒸気爆発を引き起こし、1000トンもあった核コンテナの蓋は木っ端微塵に破壊され、放射性燃料のカケラを大気中に吹き飛ばした。そして数トンの黒鉛を燃やし始めた。

黒鉛はいったん燃え始めたら、まず消すことはできない。消火には9日間かかったが、消火活動に携わった消防士や、ヘリコプターのパイロットはあまりに強い放射線のため、その後、全員が命を落とした……。

コンクリートで固められた現在の発電所
通称：石棺と呼ばれている。今も内部で核反応がすすんでいて、倒壊の危険がでてきている。

65万人もの清掃人が、最初の1年でチェルノブイリ原発の清掃作業に従事した。雇われたり、強制的につれてこられた清掃人は、汚染物された物の清掃や後始末、発電所をコンクリートで固める作業などに従事。政府は、希望ある未来を夢見るはずの若い兵士たちに、チェルノブイリ事故の清掃を命じたのである。明らかに不十分な防護服と、危険に対する説明もほとんどしないままである。その結果……。

清掃人として働いた人の若者が体を壊し、ある統計では8000～5万人がチェルノブイリ動力プラントで受けた放射線のために死亡した……



何も知らずに、死の清掃作業に向かう若者たち「清掃人」(リクビダートル)

ゴーストタウンと化した死の町

チェルノブイリ地域の放射能は、4万8000年残るといわれている。専門家の中には、はやければ300年後、おそければ900年後には人が住み始めることができるという人もいる。

しかし、原発の燃料であるウランは、半減期(元素が変化し続け、半分がちがう物質に変わるまでの時間)が約45億年かかるという現実の前に、はたしてこの町に人々が戻ってくるのか？

この町は1986年4月26日から時間が止まったまま……。



あなたは「脱原発社会」それとも「原発依存社会」どちらを選ぶ？

チェルノブイリ原発事故による放射能被害が深刻だった北欧ヨーロッパの国々は、この事故を契機に次々と原発廃止を決定し、今では環境と福祉の充実した国づくりを目指し、地球温暖化のための二酸化炭素削減を積極的に推し進め省エネ社会の実現を推し進め世界をリードしています。

日本は、資源が少ないという理由で、今後も原発を作り続けていく道を選択しています。近頃は「地球温暖化を防ぐために原発は必要」といっています。日本は今、世界の競争に負けない経済大国・軍事大国を目指しているのです。

あなたが将来、家族を持つとした、ヨーロッパのような国？ 今の日本？ どちらがいいでしょう。将来の日本で生きていく主役は君たちだ。この国を作っていくのは他でもない君たちだ。君はどちらの道を選ぶ？